

サンインスツルメント

サンインスツルメントのブースでは、HD ビデオトランシーバ、小型 MSA 型ハイパワーマルチポート光増幅器、半導体光増幅器、着脱式光 DVI ケーブルが展示される。

HD ビデオトランシーバ

HD ビデオトランシーバは、韓国のトランシーバメーカーである OE SOLUTIONS 社の製品だ。同社は、サムスンを始めルーセント系といった、北米や韓国の大手通信会社でトランシーバの開発に 20 年以上関わってきたエンジニアがスピンオフして集まって設立されたメーカーで、高品質、高エンジニア力、そして低価格に重点を置いているという。

この製品は SMPTE 292M, 297M, 259M, 414M に準拠しており、ビットレートは 1.5Gbps / 3Gbps。送信モジュール、受信モジュールも取り揃えている。また、フィルタを入れることで CWDM 伝送も可能だ。

サンインスツルメント 営業部の水井氏は「すでに日本でも実績があるので信頼性は高い。北米ではビデオネットワーク(スポーツ中継など)などでの実績も有る。他にはムービーディストリビューション、セキュリティなどアプリケーションは広い。技術力の高いメーカーなのでスペックの融通も利く」と話す。また、最近ニーズの大きいワイヤレス向けの一芯双方向トランシーバ(SFP)も展示される。

小型MSA型ハイパワーマルチポート光増幅器

KEOPSYS社は、独自のVSP技術を用い、光通信用高出力・高効率なEDFA やレーザ、及び理化学研究、産業1.0μmYbファイバンプ、レーザ等を製造している。優れた技術によりカスタム製品もある。ブースでは、C-band対応の小型MSA型ハイパワーマルチポート光増幅器を見ることができる。

ポート数は最大32ポート(光出力+37dBm)で、構成としては16×20dBm、8×18dBmなどの対応が可能だ。Noise Figureは1550nmで0dBmの場合5.5dB。各ポートUniformityは16×20dBmの場合0.8dB。8×18dBmでの消費電力は20W以下。RS232cコマンドやアナログコマンドに対応可能。MSAサイズ(〜8×18dBm)は90×70×12mm。

半導体光増幅器

展示される半導体光増幅器は、FTTH、CATV、医療、センシング、産業用イメージング、テレコムR&D用の半導体光アンプの製造メーカーであるAlphion社の製品。

波長は1310nm、1490nm、1550nm、1590nm帯。飽和出力は13dBm(Typ)。Noise Figureは6dB(Typ)。ゲインは20dB(Typ)で、Low、Medinm、Highゲインを選択することができる。他、関連製品では3波(1310/1490/1550nm)WDMフィルタも別メーカーで扱っている。

着脱式光DVIケーブル「M1-201DA-TR」

韓国のホーム&オフィスデジタル機器接続用光リンク、トランシーバのメーカーである Opticis 社製の着脱式光 DVI ケーブル「M1-201DA-TR」は、テレビ局での映像編集などに用途がある製品だ。

光ケーブル着脱式。解像度 WUXGA、1080P までサポート。DVI-D。LC コネクタ付き光ファイバーケーブル 2 本でグラフィック TMDS 信号(R/G/B/クロック)を伝送。マルチモードファイバとシングルモードファイバから選択して使用することができる。最長、MMF で 500m、SMF で 1.5km の伝送可能だ。仮想 DDC、セルフ EDID 設定機能。HDCP 非対応。

